

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語は全国と比べて高い平均正答率であり、特に「我が国の言語文化に関する事項」については全国平均を大きく上回っています。日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立っていると考えられます。一方で、文の中で正しく漢字を使うことについてはやや課題がみられます。
- ・算数の平均正答率は、全国をやや上回り、これまでの学習の定着がみられます。特に「データの活用」の領域において、グラフから割合を読み取ること、表から必要な数値を読み取ることがよくできています。一方で、言葉や数を用いて記述することにやや課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみられる項目
「自分にはよいところがある」「学習の中でPCを活用する」「英語の勉強が好き」について高い数値を表しています。
- ・課題となる項目
「1日4時間以上テレビゲームをする」と回答した児童の割合が全国と比べ高い傾向です。
「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が全国と比べ低い傾向です。
「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した児童の割合が低いことも課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・漢字の定着には、日常の反復練習を大切にし、字の書き順や成り立ち、部首や熟語の意味などを関連付けて覚えるよう指導します。また、読書に親しむ児童が多いことを活かし、読書の幅を広げて漢字に触れる機会を増やしていきます。
- ・算数の学習では計算で答えを出すだけでなく、自分の求め方を説明する活動や、友達の考えを説明する活動などを取り入れます。
- ・将来について考える機会を教育活動のあらゆる場面で設け、キャリアパスポートを効果的に活用してキャリア教育を計画的に実践していきます。また、児童の居場所をつくり、担任だけでなく全教職員が子どもたち一人一人の情報を共有し、寄り添う指導を心掛けます。安心していつでも大人に相談できる環境整備をさらに進めていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・朝食の摂取や十分な睡眠など、子どもたちの一日の生活を見直し、望ましい生活習慣の定着に向けて、「我が家のルール」としてゲームの時間などについて話し合う機会をもってください。
- ・学校生活や、社会での出来事について関心をもち、夢を育むために、家族での会話の時間を確保しましょう。
- ・家庭での学習時間を定着させるために、子どもの頑張りを認め、目標に向かって主体的に取り組めるよう、励ましの声をかけてあげてください。